

「東日本の中枢都市」の実現を

合併30周年となる令和13年度の市役所移転をめざして



清水勇人市長

■中東情勢対応を迅速に講じる

緊迫化する中東情勢の影響により、石油由来製品の供給の不安定や価格高騰などが発生、本市でも一部事業に影響が及んでおります。

今後も、必要に応じて具体的な対応を迅速に講じてまいります。

■防災・減災対策に万全を期す

本市では、市民の皆様の安全・安心を守るための防災・減災対策に万全を期してまいります。

埼玉県市長会定期総会では、消防指令センターの共同運用について提案いたしました。

今後、県や市町村、各消防本部と連携し、各消防指令センターの将来的な一元化も見据えながら、検討を進めてまいります。

■上質な生活都市・東日本の中枢都市

5月1日の「さいたま市民の日」に、本市は誕生25周年を迎えました。

この25年間の歩みを礎に、次の25年を見据え、市民、企業、団体等の皆様と力を合わせながら「上質な生活都市」と「東日本の中枢都市」という将来都市像の実現に取り組んでまいります。

■ヌウのBirthday*1

5月1日は、本市のPRキャラクター「つなが竜ヌウ」の誕生日でした。これを記念して、鉄道博物館でヌウのバースデーイベントを開催したほか、ステラタウンでも、ヌウの着ぐるみをアップサイクルするワークショップを実施いたしました。

■子育て楽しいさいたま市

本市は、14歳以下の転入超過数が令和5年まで9年連続で全国1位となるなど、子育て世代に選ばれる有数の都市です。

本市では、令和4年度以降、待機児童数ゼロを本年も達成したことで、5年連続となりました。

「こども誰でも通園制度」の本格実施や「放課後子ども居場所事業」の充実により、「子育て楽しいさいたま市」の環境づくりを進めます。

■地下鉄7号線の延伸

地下鉄7号線の延伸については、本年3月、埼玉県と共同で、鉄道事業者に対し、速達性向上事業の実施要請を行いました。

新駅が予定される中間駅は、環境に配慮した100年先まで続くまちというコンセプトの下、鉄道事業と一体的に推進してまいります。

■令和13年度に市役所移転

本年4月には、市役所新庁舎の基本設計が完了し、未来に向けた都市経営の拠点となる具体像をお示しすることができました。

引き続き、建設市況の動向等も注視しながら、合併30周年となる令和13年度の移転を目指して、必要な取組を着実に進めてまいります。

■タンDEM型ペロブスカイト太陽電池

3月から、タンDEM型ペロブスカイト太陽電池の実証事業を本庁舎敷地内で開始しました。

引き続き、民間事業者と連携し、公共施設を活用した実証事業に積極的に取り組んでいくことで、実用化を後押ししてまいります。

■芝浦工業大学との共創

「共創」の取組として、本年4月には、芝浦工業大学と包括連携協定を締結いたしました。

本協定を契機に、教育・研究資源を活用した連携を一層強化し、市民サービスの向上や地域の活性化に取り組んでまいります。

■FIFAワールドカップ2026

いよいよ来週から(6/11~7/19)、FIFAワールドカップ2026が開幕いたします。

日本代表には、本市にゆかりの深い、浦和レッズ出身の遠藤航選手と鈴木彩艶選手が選ばれております。

本市では、市民の皆様や多くのファン・サポーターとともに、「サッカーのまちさいたま」にふさわしい熱い応援を繰り広げてまいります。

県民公論のマスコット



*1ヌウ Birthday



見沼たんぼの龍神「ヌウ」は、さいたま市の守護神であり、市民みんなをつなぐアイドルなので「つなが竜ヌウ」ともいいます。誕生日は5月1日。竜には年齢はありません。

県民公論秘蔵
衝撃映像

